

## 第二十九回総会開催 第二十九期役員・予算案議

REF第二十九回総会が七月十九日(土)福井県職員会館で行われ、約三十名の出席を得て、新役員・新予算などの議決のほか、新役員による今期の活動報告が表明された。総会では、酒井俊雄幹事長からの挨拶、第二十八期活動報告やREF運営の改善事項の報告があり、続いて、菅原桂一郎総務による新入会員紹介及び会員等異動報告の後、議事に移った。

議長としては宮本好昭氏が選出された。その後議長としての進行の元、決算報告、予算案、役員改選などの議決を行った。

また、二十九期の活動方針として新幹事による各活動への決意表明が表明され、また、第30期記念事業実施準備について話がされた。



第29期総会開催中の様子

その後会場を移し、懇親会が開かれ、小林孝彰司会により進行された。

その際、新入会員の自己紹介を交えるなど、和やかな雰囲気の中、懇親会は進み、会員相互の交流を深めた後、閉会した。

### 第二十九期役員(敬称略) ○は新任役員 (任期 平成二十年七月〜平成二十一年七月)

- |          |         |                   |
|----------|---------|-------------------|
| 会長       | ○加藤 哲男  | 名古屋産業大学 総合環境設計事務所 |
| 副会長      | 堂本 博滋   | 県土木管理課            |
| 幹事長      | ○稲葉 隆夫  | 県道路建設課            |
| 副幹事長     | 酒井 俊雄   | 県高規格道路推進課         |
| 〃        | 三田村 佳紀  | 福井大学工学部           |
| 〃        | 川本 義海   | 福井大学工学部           |
| 幹事       |         |                   |
| (総務)     | 菅原 桂一郎  | 県福井土木事務所          |
| (財務)     | 服部 正秀   | 県福井土木事務所          |
| (機関誌)    | 萩原 貞宏   | 県河川課              |
| (ホームページ) | ○竹山 清隆  | 県都市計画課            |
| (談話会)    | ○帰山 洋志  | 市建設部道路課           |
| 分科会幹事    |         |                   |
| (交通)     | ○上村 祥代  | 福井大学大学院           |
| (緑)      | 道久 英一   | 県港湾空港課            |
| (地盤)     | 林 祐一    | 中央測量設計            |
| (地象)     | 梅田 祐一   | 帝國コンサルタント         |
| 支援幹事     |         |                   |
| ○柏 貴子    | 福井大学大学院 |                   |
| ○西山 知江子  | 福井大学大学院 |                   |
| ○上嶋 絵里   | 福井大学大学院 |                   |
| ○野田 満    | 福井大学大学院 |                   |
| 監査       |         |                   |
| ○橋本 栄治   | 県港湾空港課  |                   |
| ○本多 義明   | 地域環境研究所 |                   |
| ○富田 伊太郎  | 協立測量設計  |                   |
| ○児玉 忠    | 県建設技術公社 |                   |
| 顧問       |         |                   |

収入の部 (単位:円)

目 録	前期予算	予算	増減	備考
会 費	1,866,000	1,536,000	△330,000	
正 会 員 費	1,548,000	1,212,000	△336,000	延べ101人
学 生 会 員 費	159,000	183,000	24,000	延べ61人
中 間 報 告 会 費	39,000	21,000	△18,000	延べ7人
機 関 誌 刊 行 費	60,000	60,000	0	
機 関 誌 印 刷 費	60,000	60,000	0	
機 関 誌 印 刷 費	56,404	667,215	610,811	
機 関 誌 印 刷 費	56,404	667,215	610,811	
機 関 誌 印 刷 費	96	285	189	
機 関 誌 印 刷 費	96	285	189	
機 関 誌 印 刷 費	0	0	0	
機 関 誌 印 刷 費	0	0	0	
機 関 誌 印 刷 費	0	0	0	
計	1,922,500	2,203,500	281,000	

支出の部 (単位:円)

目 録	前期予算	予算	増減	備考
事 業 費	1,360,000	980,000	△380,000	
分科会活動助成金	560,000	320,000	△240,000	4分科会×8万円
提議会助成金	100,000	60,000	△40,000	
研修会助成金	400,000	350,000	△50,000	
機関誌印刷費	300,000	250,000	△50,000	
機 関 誌 印 刷 費	300,000	330,000	30,000	
中 間 報 告 会 費	150,000	150,000	0	
総 務 会 費	150,000	150,000	0	
総 務 会 費	0	30,000	30,000	三谷*会館室利用料等
会 議 室 管 理 費	160,000	150,000	△10,000	
通 信 運 送 費	30,000	0	△30,000	
通 信 運 送 費	120,000	120,000	0	
旅 行 費	5,000	20,000	15,000	
旅 行 費	5,000	10,000	5,000	
予 備 費	2,500	643,500	641,000	
予 備 費	2,500	643,500	641,000	
積 立 金	100,000	100,000	0	
積 立 金	100,000	100,000	0	
計	1,922,500	2,203,500	281,000	

第二十九期予算報告(平成二〇年七月一日)  
平成二十一年六月三十日

収入の部 (単位:円)

目 録	予算	決算(A)	増減	備考
会 費	1,866,000	2,215,000	349,000	納入率(87%)
正 会 員 費	1,548,000	1,056,000	△492,000	89名納入(92%)
学 生 会 員 費	159,000	88,500	△70,500	32名納入(53%)
中 間 報 告 会 費	39,000	39,000	0	13名納入(100%)
機 関 誌 刊 行 費	60,000	56,000	△4,000	懇親会 参加20名
機 関 誌 刊 行 費	60,000	53,000	△7,000	懇親会 参加19名
機 関 誌 刊 行 費	0	922,500	922,500	延べ60名より回収
機 関 誌 刊 行 費	56,404	56,404	0	
機 関 誌 刊 行 費	56,404	56,404	0	
機 関 誌 刊 行 費	96	329	233	
機 関 誌 刊 行 費	0	96	96	
機 関 誌 刊 行 費	0	52,000	52,000	
機 関 誌 刊 行 費	0	52,000	52,000	職員会館 利用補助費
計	1,922,500	2,323,733	401,233	

支出の部 (単位:円)

目 録	予算	決算(B)	増減	備考
事 業 費	1,360,000	760,403	△599,597	
分科会活動助成金	560,000	200,000	△360,000	中間2、総会3分科会
提議会助成金	100,000	57,063	△42,937	3回開催
研修会助成金	400,000	259,740	△140,260	菅原氏 参加7名
機関誌印刷費	300,000	243,600	△56,400	REF第27号
機 関 誌 印 刷 費	300,000	220,120	△79,880	
中 間 報 告 会 費	150,000	98,920	△51,080	H20.2.4開催(出席22名)
総 務 会 費	150,000	121,200	△28,800	H19.7.4開催(出席37名)
総 務 会 費	0	175,995	175,995	
会 議 室 管 理 費	30,000	30,000	0	(財) 地域環境研究所
通 信 運 送 費	120,000	110,995	△9,005	
旅 行 費	5,000	35,000	30,000	支線幹事交通費(7名)
旅 行 費	5,000	0	△5,000	
予 備 費	2,500	0	△2,500	
予 備 費	2,500	0	△2,500	
積 立 金	100,000	500,000	400,000	
積 立 金	100,000	500,000	400,000	
計	1,922,500	1,656,518	△265,982	

第二十八期決算報告(平成十九年七月一日)  
平成二〇年六月三十日

# 【分科会報告会】

総会に先立ち、第二十八期の分科会活動の報告が開催された。今回は三分科会から研究成果が報告された。港町における地域資源、眺望景観、緊急地震速報の適用性など、今後、福井のみならず全国的に問題となってくる題材を取り上げ、RE Fらしい報告が行われた。以下に簡単な研究の要旨と議論された内容について掲載する。

## 【交通分科会】

発表者 上村 祥代 氏  
 講師 小林 孝彰 氏

「みなとまちの地域資源としての価値」

近年「みなと」は、従来の港としての役割だけではなく、地域の人々の集いの場、また観光の場として注目されるようになった。美しく活力のある「みなと」空間を形成するため、また、地域・産業の活性化のため、本研究では、「みなとまち」特に、北前船の寄港地を中心に現地調査とキーワード分析を行い、「みなと」に存在する魅力を様々な視点から再評価し、みなとまちの地域資源としての価値を探った。



第28期分科会報告会の模様



発表を行う上村氏

## 【緑分科会】

発表者 道久 英一 氏  
 講師 三寺 潤 氏

「眺望景観分析における広域的景観計画」

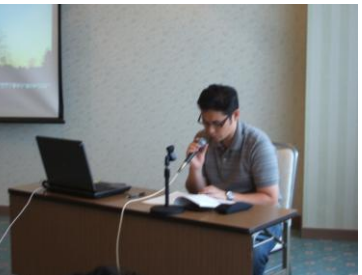
二十五期、二十六期、二十七日に引き続き、地域住民に分かりやすい広域的景観計画策定のアプローチ手法としての眺望景観分析による計画立案手法の可能性・効果を探るため、眺望マップを作成し、活用した後、ビューポイント等の抽出・分析を行った。また、今回は試行的にSD法を用いて眺望景観の特性把握を行った。

## 【地象分科会】

発表者 梅田 祐一 氏  
 講師 酒井 俊雄 氏

「福井県における緊急地震速報の適用性」

近年、国内外で頻発する地震により、人々の大規模地震への関心は高まっている。また、北陸地方でも地震が発生していることより、大規模地震に対する備えや、地震発生時の行動をあらかじめイメージすることは重要といえる。今回は、東海地震、東南海地震、南海地震などが福井県に及ぼす影響などに絡めて、昨年十月にスタートされた緊急地震速報の福井県における適用性について検討した。



発表を行う道久氏



発表を行う梅田氏

# ☆入退会のおしらせ☆ (敬称略)

### 《入会》

正会員 宮沢 国明 (No. 233)

千谷 俊之 (No. 234)

田口 成人 (No. 235)

丸中 考通 (No. 236)

### 会友

なし

### 学生会員

柏 貴子 (No. 514)

西山 知江子 (No. 515)

上嶋 絵里 (No. 516)

野田 満 (No. 517)

### 《退会》

正会員 小林 登志夫 (No. 107)

舟原 光隆 (No. 108)

鈴木 隆一 (No. 144)

成川 雅一 (No. 191)

林 逸男 (No. 197)

村田 安宏 (No. 132)

野坂 佳孝 (No. 136)

北村 秀雄 (No. 138)

高嶋 猛 (No. 141)

坂川 優 (No. 145)

田波 真佐恵 (No. 152)

### 《退会》 続き

正会員 岡山 和市 (No. 157)

丹羽 栄恭 (No. 159)

山崎 沢幸 (No. 170)

清水 栄一 (No. 171)

那須 勝幸 (No. 193)

金井 智志 (No. 195)

芝原 幸 (No. 198)

三好 美貴子 (No. 200)

山本 道隆 (No. 210)

倉田 友幸 (No. 218)

小泉 剛康 (No. 219)

三上 茂 (No. 224)

谷口 直子 (No. 225)

川端 真治 (No. 228)

石森 信敏 (No. 308)

舟川 功 (No. 320)

中川 大志郎 (No. 325)

藤原 淑子 (No. 331)

高田 弘幸 (No. 344)

最上 洋平 (No. 350)

### 《退会》 続き

学生会員 阪本 一真 (No. 507)

周 美華 (No. 508)

田中 雅之 (No. 509)

林 考宣 (No. 510)

前田 英輝 (No. 511)

松本 拓郎 (No. 512)

揚 揚 (No. 513)

### 《異動》

(正会員→会友) 鈴木 修二 (No. 114) ↓ No. 369

北嶋 勝三 (No. 153) ↓ No. 370

竹谷 一恵 (No. 168) ↓ No. 371

三村 泰広 (No. 182) ↓ No. 373

村田 一也 (No. 214) ↓ No. 374

寺内 義典 (No. 222) ↓ No. 375

(学生会員→正会員) なし

(学生会員→会友) 李 泰榮 (No. 501) ↓ No. 339

朝倉 卓也 (No. 505) ↓ No. 355

金丸 晃大 (No. 506) ↓ No. 356

## 【談話会活動報告】

第七十三回 R E F 談話会が六月十二日(木)福井県職員会館にて開催された。

今回は、福井大学の川上洋司教授により、『スペイン・イタリアの交通まちづくり・道路空間利用の再配分、都心流入規制等への取り組み、トラムによる都市再生』と題しまして、発表して頂きました。

内容としては、スペインのビルパオ市や、C I V I T A S Ⅱに参加しているブルゴス市の交通まちづくりにおける主要な取り組みについて紹介された。

具体的には、市内への車の流入を防ぐゾーン規制や、公共交通機関の利用促進施策、自転車を活かした交通まちづくり施策について紹介され、関心を集めた。また、C I V I T A S ⅡというEU諸国で実施されている補助施策についても紹介がされた。

その後の意見交換では、様々な方から質問がなされ、また、日本や福井市との比較による両市の違いの原因と改善方策について、活発な議論が交わされた。



発表の様子



意見交換の様子

## 【第二十九期幹事会開催】

第二十九期第一回幹事会が八月七日(水)に福井大学にて開催された。

議題としては、R E F 機関誌の発送準備や R E F ニュースの発行などについての意見や提案、また、退会者についての報告がされた。

具体的な内容として、R E F ニュースの内容や七月に行われた総会についての報告、九月に行われる談話会について話がされた。談話会の詳細については左記に記す。また、第30回記念シンポジウムの準備について、研修についての話もされた。

## 【談話会開催のご案内】

第二十九期第一回談話会開催が決まりましたのでお知らせいたします。

日時 : 平成20年9月10日(水)  
午後6時30分～8時

場所 : 福井県職員会館301号室

今回は、今野先生をお招きして「今後の地方都市のあり方について」をテーマに討論したいと思えます。進め方として、サブテーマごとに川上先生が問題提起を行い、今野先生にこれまでのご経験を踏まえつつ、今後の地方都市のあり方について論じて頂き、その後会場の出席者も参加し、全体で討論する形で行います。サブテーマとしては、

- ① 機能集約型まちづくり(コンパクトシティ化)
  - ② 路面電車を生かしたまちづくり
  - ③ 高齢少子化社会におけるまちづくり
- を予定しています。皆様奮ってご参加下さい。

なお、その他討論して欲しいサブテーマがございましたら、幹事まで提案願います。

## 【会費の納入について】

会費の納入をお願いします。

### ■年会費

会員	: 12,000円
会友	: 3,000円
学生会員	: 3,000円

### ■会費納入先

《振込みの場合》

郵貯銀行

振替口座 730-3-20396

福井地域環境研究会

※機関紙巻末の振込用紙をご利用ください。

《直接支払う場合》

総会、中間報告会、談話会開催時に受付にて。もしくは下記、財務幹事まで直接お支払いください。

〒910-0853

福井市城東4丁目28-1

福井土木事務所 道路保全課

服部 正秀

TEL 0776-24-5126

Mail m-hatsutori-rk@pref.fukui.lg.jp

## 【編集後記】

今回、広報支援としてお手伝いさせていただきました西山です。今後も広報としての活動を精一杯サポートさせていただきますので、よろしく願います。

ニュースへの意見・要望・話題等ございましたら、公報担当へメールにて一報下さるようお願いいたします。

Mail : ref-student@hotmail.co.jp